

経済レポート

2016(平成28)年度 新入社員意識調査アンケート結果【名古屋版】

～出世を望む男性社員、出世にこだわらない女性社員。理想の上司は「ライオン」～

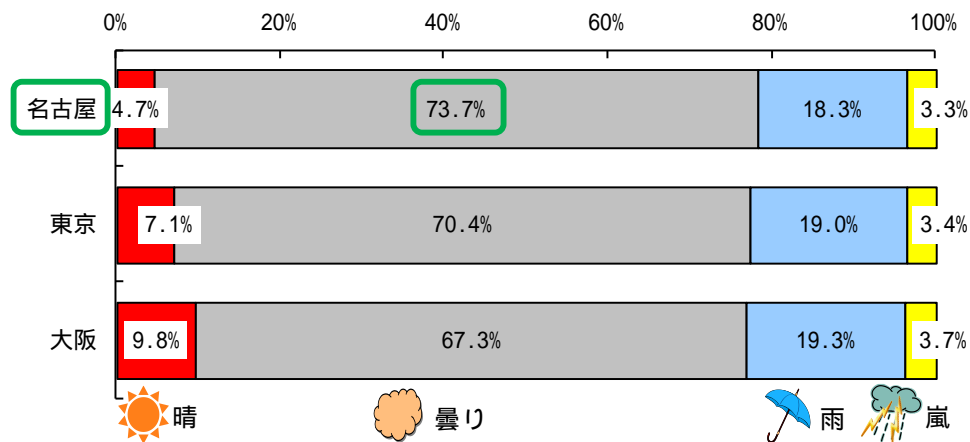
調査部 研究員 藤田 隼平

日本の現状に対する見方は厳しい

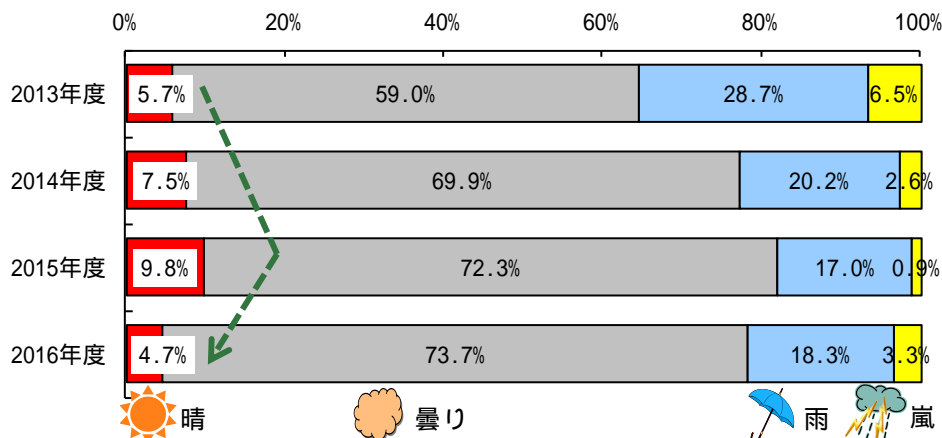
今の日本の状態をどう思うか新入社員に天気(晴、曇り、雨、嵐)で表してもらったところ、最も多く選ばれたのは「曇り」(73.7%)であった(図表1)。「晴」と答えた人の割合は4.7%にとどまり、東京(7.1%)や大阪(9.8%)よりも日本の現状に対する厳しい見方が示された。

さらに2013年度以降の推移を見ると、「晴」と答えた人の割合は最も低く、逆に「曇り」の割合は最も高くなっている(図表2)。「雨」や「嵐」の割合は13年度と比べてまだ低いものの、景気に弱さが見られる中で、新入社員の心理は悪化していると考えられる。

図表1. 今の日本の状態を天気で表すと?



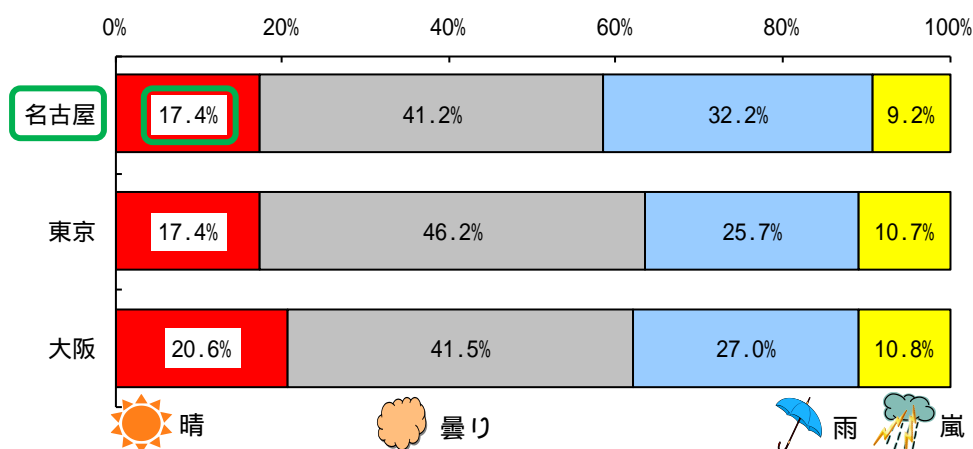
図表2. 今の日本の状態を天気で表すと? (名古屋地区推移)



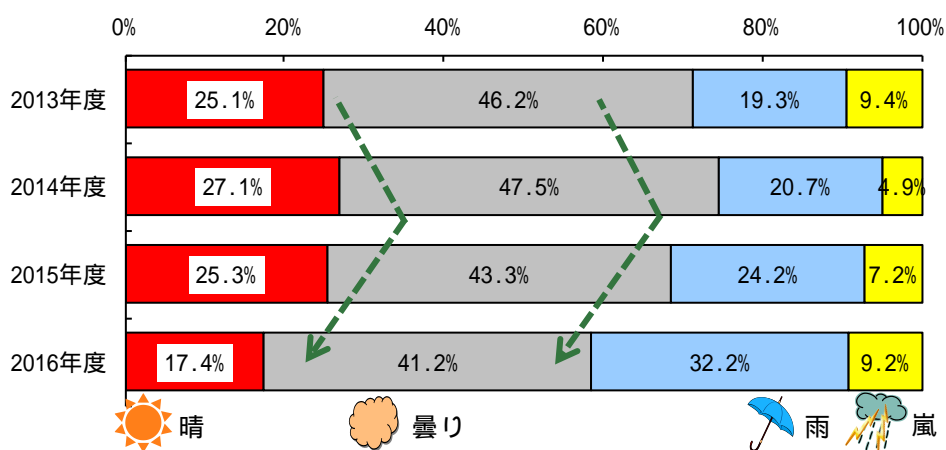
また、10年後の日本の状態についても尋ねたところ、引き続き「曇り」(41.2%)と答えた人が最も多かったものの、半数以下にまで減少している(図表3)。一方、「晴」(17.4%)と答えた人の割合は2割弱まで高まっているが、「雨」(32.2%)や「嵐」(9.2%)という回答がそれを上回って上昇しており、日本の先行きに対する見方は厳しいものとなっている。

さらに2013年度以降の推移を見ると、「晴」と答えた人の割合は最も低く、逆に「曇り」や「雨」は最も高くなっている(図表4)。日本の現状だけでなく、先行きに対しても不安を抱く新入社員の数が徐々に増えていると考えられる。

図表3.10年後の日本の状態を天気で表すと？



図表4.10年後の日本の状態を天気で表すと？(名古屋地区推移)



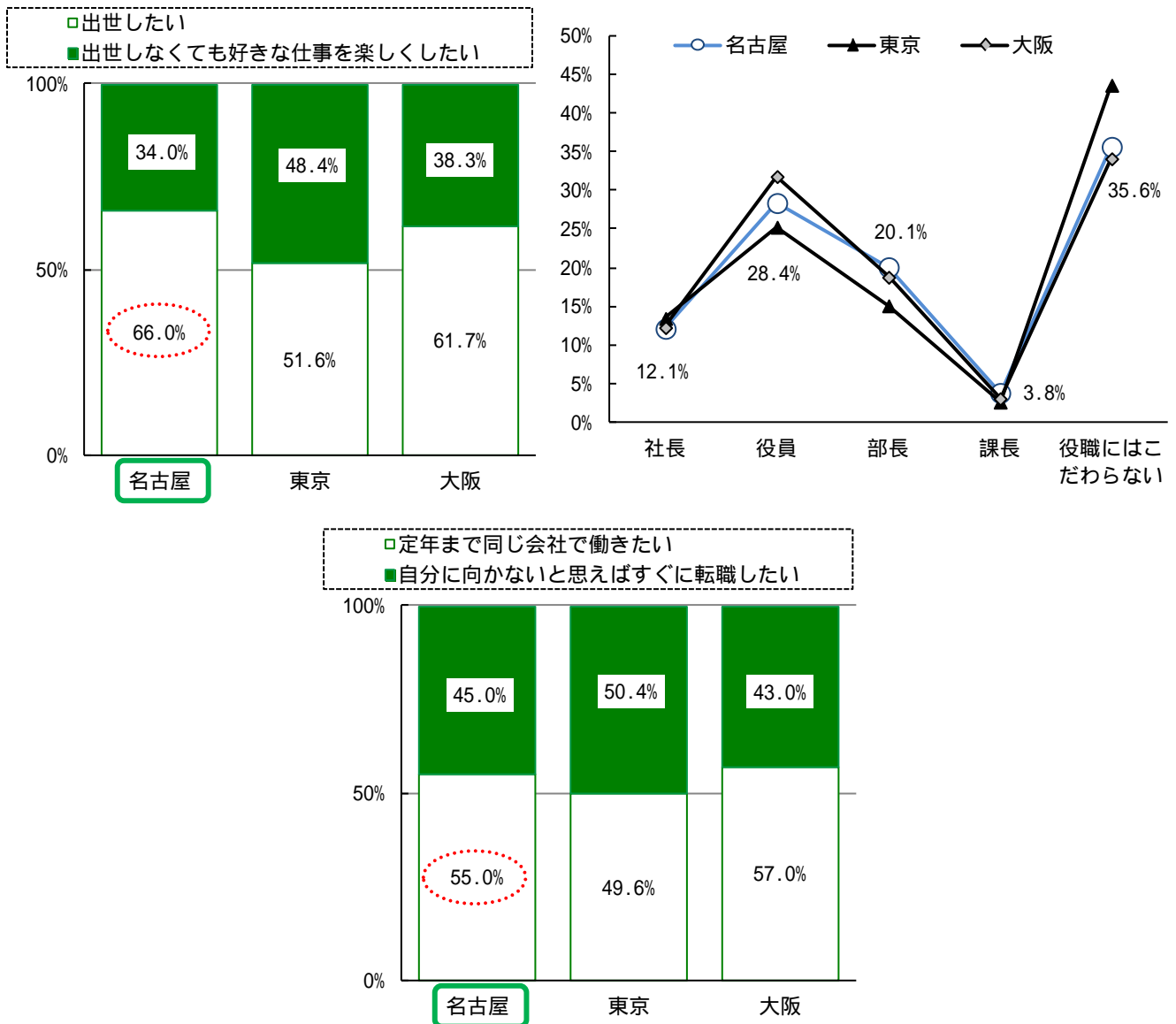
名古屋男性は出世願望が強い

新入社員に「出世したい」か「出世しなくても好きな仕事を楽しくしたい」かどちらに近いかを聞いたところ、「出世したい」を選んだのは名古屋地区では 66.0% に上り、東京（51.6%）や大阪（61.7%）を上回った（図表 5 上段左）。

さらに具体的にどこまで出世したいかを尋ねたところ、「役職にこだわらない」が最も多かったものの、東京と比べて役職名を答える割合も高く、具体的な出世のイメージを比較的持つことができていると考えられる（図表 5 上段右）。

また、「定年まで同じ会社で働きたい」、「自分に向かないと思えばすぐに転職したい」のうちどちらに近いかも聞いたところ、名古屋地区では「定年まで同じ会社で働きたい」の回答割合が 55.0% と過半数を超えた（図表 5 下段）。今年度の名古屋地区の男性新入社員は出世願望が強いため、転職してステップアップを目指すよりも入社した会社で努力を重ね、最終的に上まで登り詰めたいと考える傾向があるようだ。

図表 5. 出世意欲（男性）



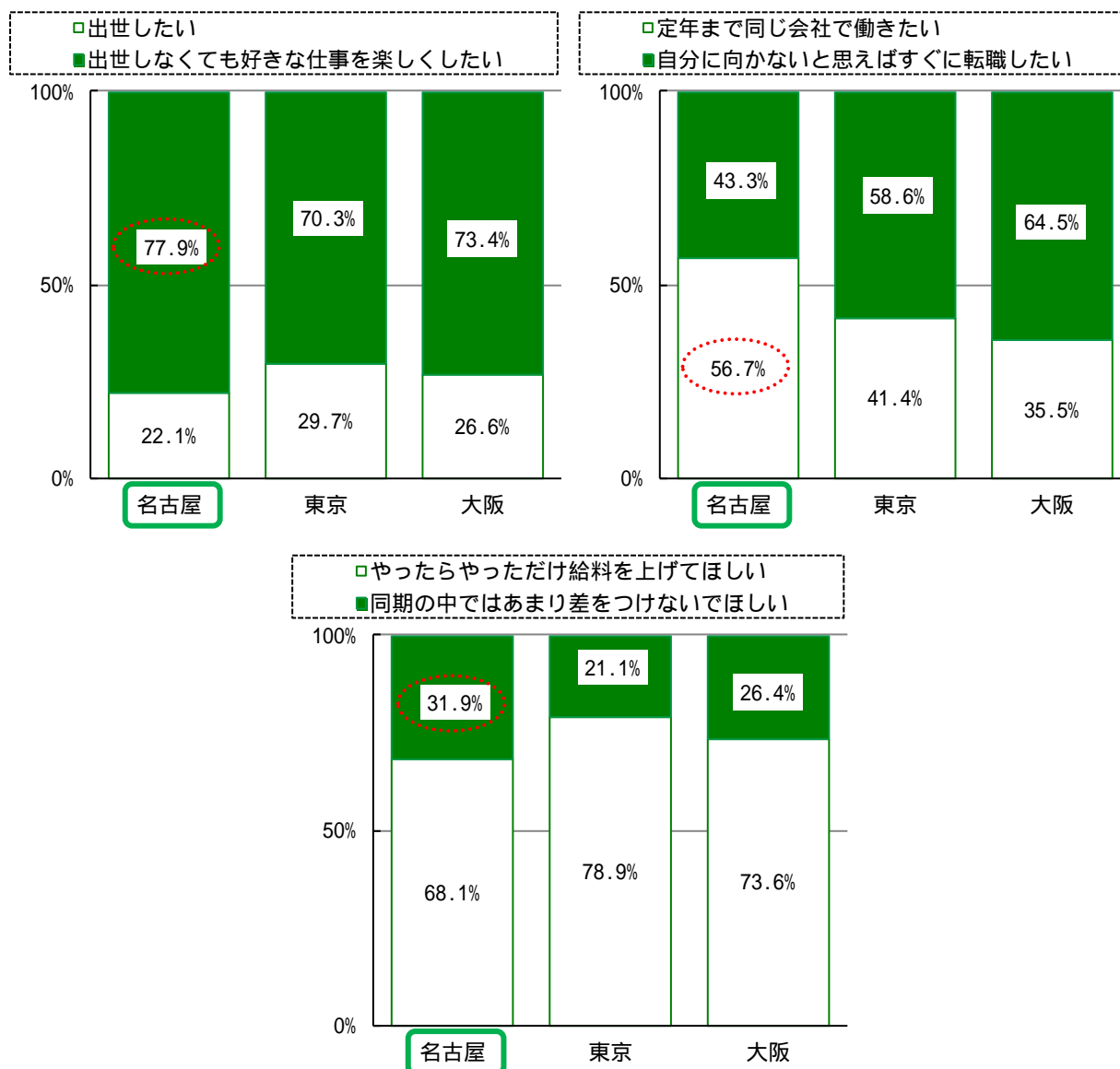
### 出世にこだわらない名古屋女性

女性の新入社員にも男性と同じく出世願望について尋ねたところ、名古屋地区では「出世しなくても好きな仕事をしたい」が77.9%に上り、東京（70.3%）や大阪（73.4%）を上回った（図表6上段左）。

また、「定年まで同じ会社で働きたい」、「自分に向かないと思えばすぐに転職したい」のうちどちらに近いかも聞いたところ、男性と同じく「定年まで同じ会社で働きたい」の割合が56.7%と半数を超えた（図表6上段右）。

さらに、「やったらやっただけ給料を上げてほしい」、「同期の中ではあまり差をつけないでほしい」のうち考えに近いものはどちらか尋ねたところ、「やったらやっただけ給料を上げてほしい」が68.1%と多数を占めたものの、「同期の中ではあまり差をつけないでほしい」との回答が東京や大阪を上回った（図表6下段）。出世は望まないものの、転職はあまりしたくないというのが名古屋地区の女性新入社員の特徴で、給与についても周りとはあまり差がつかない方が望ましいと考える人の割合も比較的多くなっている。

図表6. 出世意欲（女性）

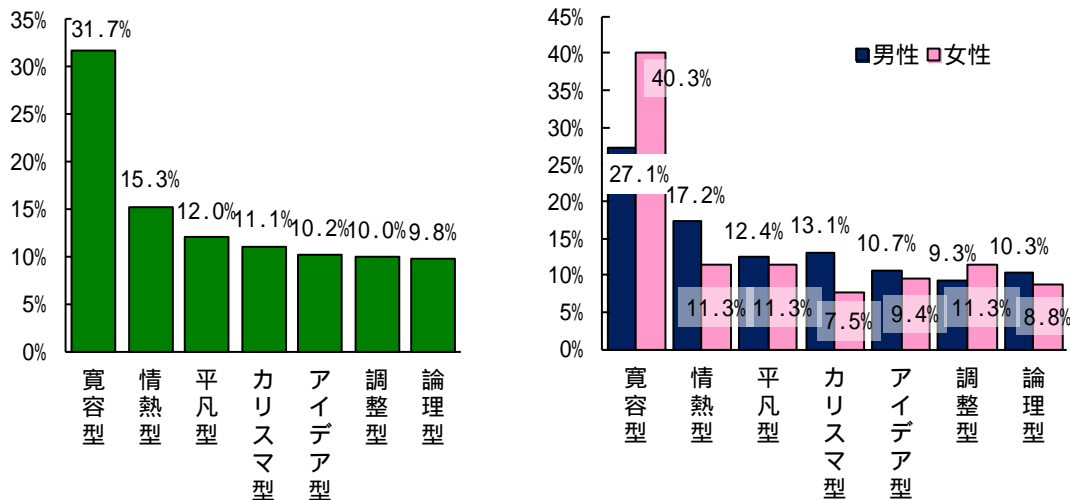


理想の上司は「寛容型」も、動物に例えると「ライオン」

新入社員にとっての理想の上司を「寛容型」、「調整型」、「カリスマ型」、「アイデア型」、「論理型」、「平凡型」、「情熱型」の7種類から選んでもらった。その結果、最も選ばれたのは、東京や大阪と同様、「寛容型」となった。「寛容型」は特に女性からの支持を集めており、出世にこだわらない名古屋地区の女性新入社員の志向が反映されているとみられる。

他方、男性では「情熱型」や「カリスマ型」の人気も比較的高くなっている。今年度の名古屋地区の男性新入社員は上昇志向が強く、上司にもある程度の厳しさを求める傾向があるようだ。

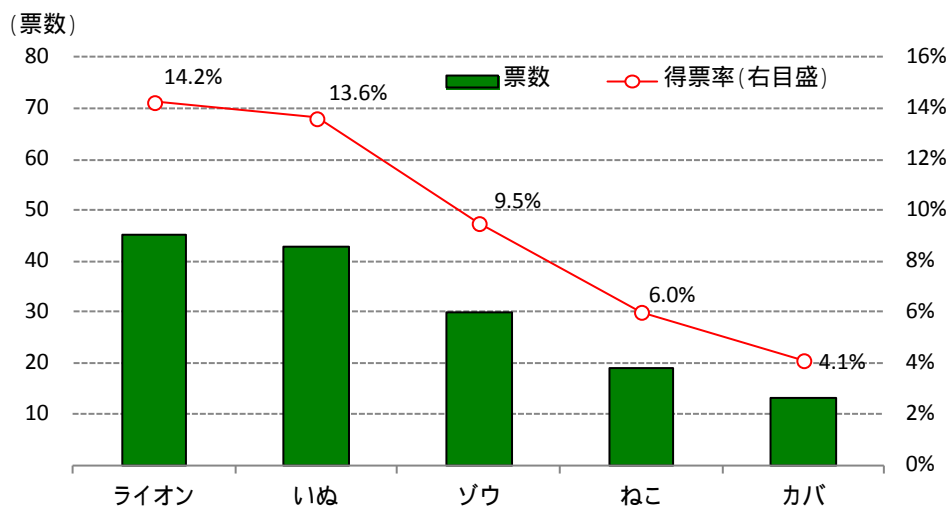
図表 7.理想の上司



こうした理想の上司を動物に例えてもらったところ、1位は、東京や大阪とは異なり、「ライオン」(得票率 14.2%)であった。リーダーシップの強さと寛大さを持ち合わせた、まさに絶対王者という存在に理想の上司の姿を重ね合わせたようだ。

また、2位には東京や大阪で1位に選ばれた「いぬ」が入った。名古屋地区でも親しみやすさを理由に挙げる声が多かった。

図表 8.理想の上司を動物に例えると



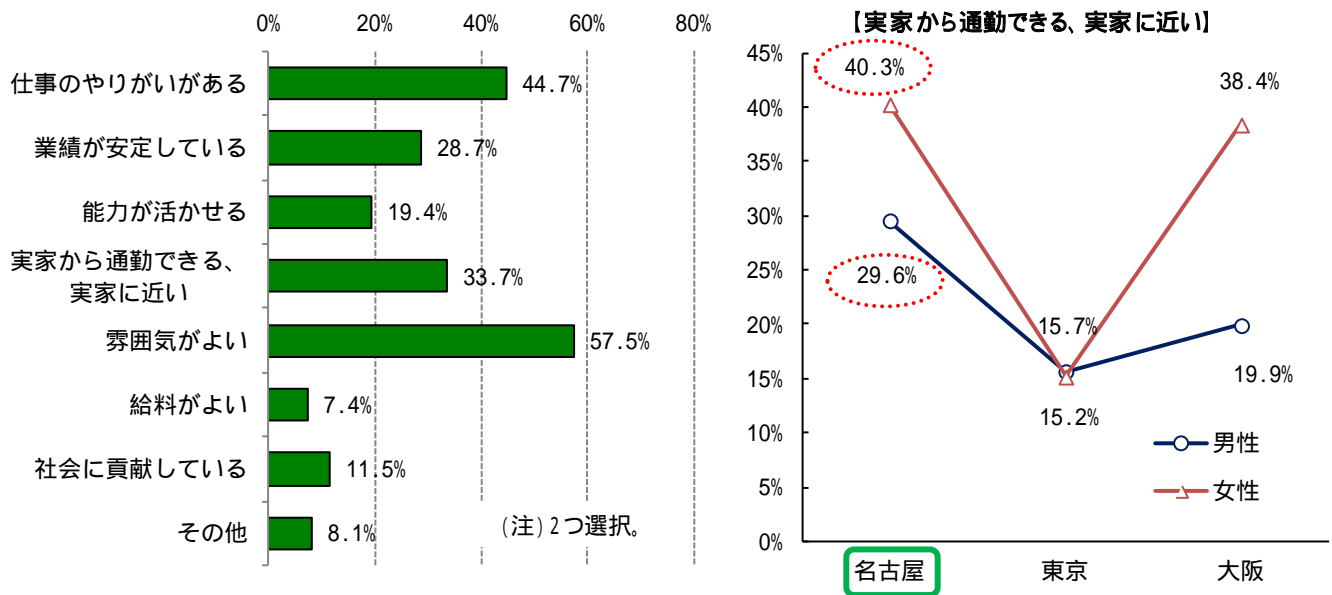
(注)有効回答数は316。

### 名古屋の新入社員は地元が大好き

最後に、名古屋地区の新入社員に、就職活動の際、何を基準に会社を選んだのか聞いたところ、最も多かったのが「雰囲気がい」（57.5%）で、次いで「仕事のやりがいがある」（44.7%）となった（図表9）。

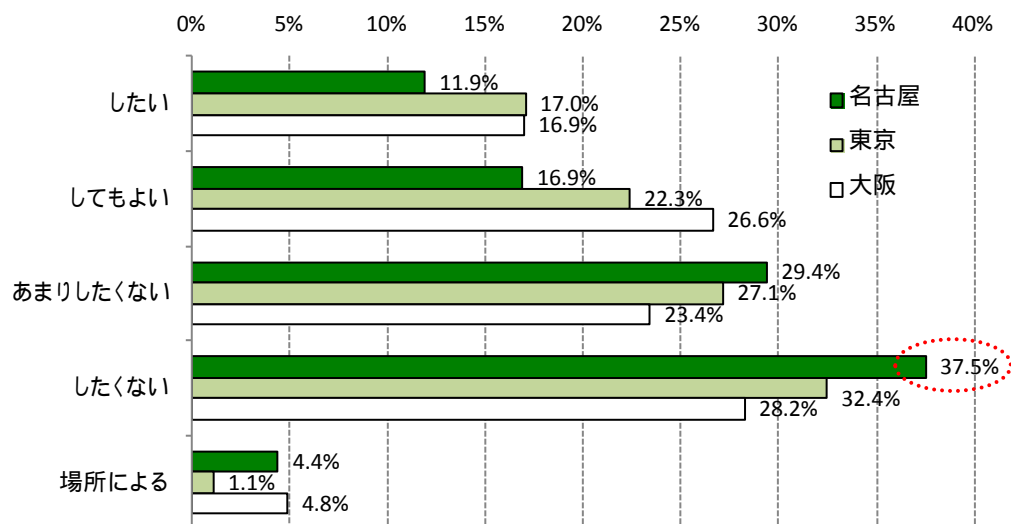
これらは東京や大阪と同じであるが、その次の第3位が名古屋地区の特徴で、「実家から通勤できる、実家に近い」（33.7%）がランクインした。男性、女性ともに東京や大阪と比べて回答割合が高く、家族の住む土地からなるべく離れたくないという傾向の強さが読み取れる。

図表9.会社を選んだ基準（名古屋地区）



また、こうした地元愛にあふれる名古屋の新入社員に対して、海外勤務をしてみたいかどうか聞いたところ、特に女性で、東京や大阪よりも「あまりしたくない」（29.4%）、「したくない」（37.5%）の割合が高くなった（図表10）。

図表10.海外勤務をしてみたいか（女性）



- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。